

# NHK交響楽団 年表 1926–2025

中村洪介・西村理 [編]

## 分冊⑥：1976–1985

- \* 本年表はNHK交響楽団関連項目、社会および音楽界のおもな出来事の2欄にわけて構成している
- \* 1926–1986年の年表は中村洪介による（『NHK交響楽団五十年史』『NHK交響楽団六十年史』の年表をもとに編集）
- \* 1987–2025年の年表は西村理による

### 主要参考文献

- 『曲目と解説』『フィルハーモニー・パンフレット』『音楽雑誌フィルハーモニー』『日本交響楽団誌』『フィルハーモニー』  
『近代日本総合年表』（岩波書店、1968）  
『朝日年鑑』（朝日新聞社）、『毎日年鑑』（毎日新聞社）、『読売年鑑』（読売新聞社）  
『NHK年鑑』（日本放送出版協会）  
『音楽年鑑』（音楽之友社）  
『音楽之友社25年のあゆみ』（音楽之友社、1966）  
『放送50年史 資料編』（日本放送協会、1977）  
『日本メディア史年表』（土屋礼子編、吉川弘文館、2018）  
『20世紀放送史』（日本放送協会編、日本放送出版協会、2001）  
『NHK放送100年史』（NHK編、NHK出版、2025）  
M. E. Cullen: *Memorable Days in Music* (The Scarecrow Press Inc., 1970)  
*Baker's Biographical Dictionary of Musicians* (G. Schirmer, 1971)  
*Riemann Musik Lexikon, Ergänzungsband Personeerteil* (Schott's Söhne, 1972)

### オンラインデータベース

「朝日新聞クロスサーチ」（朝日新聞）、「毎策」（毎日新聞）、「ヨミダス」（読売新聞）、「サントリーホール公演アーカイブ」（サントリーホール）

制作：公益財団法人 NHK交響楽団  
©NHK Symphony Orchestra, Tokyo, 2025  
編集協力：株式会社アルテスパブリッシング

## 1976

昭和51年

1976年1月4日	大河ドラマ『風と雲と虹と』（テーマ音楽：山本直純、指揮：山本直純、東京混声合唱団）放送開始
1976年1月12日	
1976年1月21日	
1976年1月27日～2月5日	
1976年2月	西ドイツからハンス・ドレヴァンツを客演指揮者に招聘（2月1日来日、2月29日離日）
1976年3月1日	
1976年3月6日	「NHKバレエのタベ」に出演。指揮尾高忠明
1976年3月22日	
1976年3月31日	
1976年4月	この月の定期公演から会費を改訂。A券2,700円、B券2,400円、C券2,100円、D券1,800円、E券1,000円
1976年4月8～23日	
1976年4月9日	「ヘンリック・シェリング協奏曲のタベ」に出演
1976年4月9日	
1976年4月14日	
1976年5月	N響創立50周年を記念して、『フィルハーモニー』懸賞論文募集。7月31日の締切りまでに37編応募、入選該当作なし。佳作市川万里子、井上稔朗、西沢明生、林隆郎、選外佳作清水常良、中山実
1976年5月11日	
1976年6月13日	
1976年8月6日	
1976年8月16日	
1976年8月27日	
1976年8月27日	
1976年9月2日～10月2日	NHK主催「イタリア歌劇団公演」（第8回）に出演。《カヴァレリア・ルスティカーナ》、《道化師》、《アドリアーナ・ルクヴルール》、《シモン・ボッカネグラ》を東京で12回公演。指揮オリヴィエロ・デ・ファブリティス、ジャンフランコ・マシーニ
1976年9月6日	
1976年9月9日	
1976年9月16日	
1976年9月24日	
1976年10月	『フィルハーモニー』10月号に第1回予約演奏会『曲目と解説』復刻版を付録として全会員に配布
1976年10月5日	創立50周年記念式典挙行
1976年10月11日	
1976年10月12日	
1976年11月17・18日	
1976年12月	西ドイツからフェルディナント・ライトナーを客演指揮者に招聘（11月24日来日、12月28日離日）
1976年12月4日	

## 1977

昭和52年

1977年1月2日	大河ドラマ『花神』（テーマ音楽：林光、指揮：山田一雄）放送開始
1977年2月23日	N響の前身新響第1回予約演奏会（1927〔昭和2〕年2月20日）以来50年間の演奏活動を記念して、ジョセフ・ローゼンストック指揮により特別演奏会を開催。プログラムは第1回公演と同一
1977年3月9・10日	第25回尾高賞受賞作品、石井真木《日本太鼓とオーケストラのためのモノリズム》演奏。指揮岩城宏之。協演鬼太鼓座（10月12、13日も）
1977年3月19日	
1977年3月21日	
1977年3月21日	
1977年3月22日	
1977年3月23・24日	第25回尾高賞受賞作品、広瀬量平《尺八と管弦楽のための協奏曲》演奏。指揮岩城宏之。独奏山本邦山（10月6、7日も）
1977年3月24日	
1977年3月21日	
1977年4月	この月の定期公演から会費を改訂。A券3,000円、B券2,700円、C券2,400円、D券2,100円、E券1,300円
1977年4月28日	
1977年4月29日	
1977年4月29・30日	第724回定期公演でR.シューマン《独唱、合唱と管弦楽のためのゲーテの「ファウスト」からの場景》を日本初演。指揮ウォルフガング・サヴァリッシュ。独唱ディートリッヒ・フィッシャー・ディースカウ、ユリア・ヴァラディほか。合唱日本プロ合唱連合、ひばり児童合唱団
1977年6月7日	
1977年6月18日	
1977年7月8日	
1977年8月1日	
1977年8月3日	
1977年9月5日	

	尾高節子（ピアノ）没
	宮原禎次（作曲）没
	第1回東京・世界バレエ・コンクール
	ジャン・マルティノン（指揮）没
	藤原義江（テノール）没。4月8日青山葬儀所で音楽関係18団体による音楽葬
	沖不可止自殺
	日中文化交流協会、中国人民対外友好協会の招聘で日本人音楽家代表団を中国に派遣
	矢代秋雄（作曲）没
	鈴木鎮一喜寿祝賀演奏会
	ルドルフ・ケンペ（指揮）没
	アンダ・ゲーザ（ピアノ）没
	グレゴール・ビアティゴルスキー（チェロ）没
	東京地検、田中前首相を受託収賄罪と外為法違反で東京地裁に起訴
	ロッテ・レーマン（ソプラノ）没
	青山圭男（演出）没
	ソ連の最新鋭ジェット戦闘機ミグ25日本の領空を侵犯、函館に強行着陸
	毛沢東中国共産党首席没
	シュトックハウゼン《シリウス》日本初演。作曲者来日。17日大阪でも演奏
	創立30年を迎える東響、初の海外演奏旅行（カナダ、アメリカ、メキシコ）に出发
	ヴェルナー・ハース（ピアノ）没
	江青、王洪文、張春橋、姚文元ら「四人組」を含む三十数人逮捕をデイリー・テレグラフ紙報道
	関西歌劇団、13年ぶりにモーツァルト《魔笛》上演
	ベンジャミン・ブリテン（作曲）没
	高田せい子（舞踊家）没
	田中絹代（女優、映画監督）没
	東京芸術大学に博士課程新設
	村山知義（小説）没
	諸井三郎（作曲）没
	東京芸術大学に博士課程新設
	山梨県、県立美術館の所蔵品として、ミレー《種まく人》ほかを購入。3点で3億1500万円
	東海大山下泰裕、全日本柔道選手権で優勝。史上最年少。山下時代始まる
	シカゴ交響楽団初来日。指揮ショルティ
	服部竜太郎（音楽評論）没
	皆川達夫監修により、国立劇場で隠れキリシタンのオラシヨ実演
	熊谷守一（画家）没
	吉田健一（評論、英文学者）没
	王貞治、国民栄誉賞第1号受賞

## 1978

昭和53年

1977年9月7・8日	第727回定期公演で、23年前に演奏するはずであったショスタコーヴィチ《交響曲第10番》を演奏。指揮外山雄三	
1977年9月13日		レオポルド・ストコフスキー（指揮）没
1977年9月16日		マリア・カラス（ソプラノ）没
1977年9月22日		文部省、20年ぶりに教科用図書検定規則を改定
1977年9月23日～11月3日		東京都交響楽団、ソ連東欧8か国21都市へ演奏旅行
1977年9月28日		日航機、ボンベイで日本赤軍によりハイジャック、ダッカ空港に強行着陸。政府、“超法規的”解決をはかる
1977年9月29日		アレクサンドル・チェレプニン（作曲・ピアノ）没
1977年10月21日		山下和仁、パリ国際ギター・コンクール演奏部門第1位
1977年10月27日		前田青都（日本画）没
1977年10月29日	台東区浅草公会堂落成記念演奏会に出演。台東区在住者を抽選で招待。指揮尾高忠明。独奏中村絃子	
1977年11月7日	敦賀市民文化センター落成記念N響特別演奏会。指揮アレクサンダー・フォン・ビターミッツ	
1977年12月1日		西村朗、エリザベート皇太后国際音楽コンクール（作曲）第1位
1977年12月2日		アラブ強硬派主脳会議トリポリで開催。5日対エジプト断交
1977年12月20日	N響編『NHK交響楽団50年史1926—1977』を日本放送出版協会から発行	
1977年12月31日		カンボジア、ベトナムと断交
1978年1月	この月の定期公演にスイス国籍の指揮者シルヴィオ・ヴァルヴィーツを招聘	
1978年1月8日	大河ドラマ『黄金の日日』（テーマ音楽：池辺晋一郎、指揮：尾高忠明）放送開始	
1978年1月8日		工藤重典、パリ国際フルート・コンクール第1位、大賞受賞
1978年1月19日		日比啓子、西ベルリンのメンデルスゾーン音楽コンクール（声楽）第1位
1978年1月27日		草月会館開館
1978年1月30日		ダミア（シャンソン）没
1978年2月4日	NHK主催「N響特別演奏会——日本の管弦楽曲」に出演。指揮外山雄三。独奏中村絃子	
1978年2月12日	新響設立に尽力した当回顧岡小野正一（弁護士、元奈良県知事）没。80歳	
1978年2月14日		佐藤功太郎群馬交響楽団常任指揮者就任披露演奏会（群馬音楽センター）
1978年2月16日	第26回尾高賞授賞式。受賞作品は野田暉行《ピアノ協奏曲》	
1978年2月22日		石井五郎（作曲）没
1978年3月14日		イスラエル軍、南部レバノン侵攻（6.13撤兵完了）
1978年3月15・16日	第745回定期公演でアイヴス《交響曲第4番》を日本初演。指揮岩城宏之、小松一彦。ピアノ木村かをり。合唱東京混声合唱団	
1978年4月1日		渡邊曉雄、日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督。常任指揮者に就任
1978年4月9日		京都府知事選挙で保守党推薦候補当選。保守、29年ぶりに府政奪還。この年全国各地で革新の退潮目立つ
1978年4月10日		日本交響楽団連絡会議結成
1978年4月25日		東郷青児（洋画）没
1978年4月28日		岡鹿之助（洋画）没
1978年4月29日		安田鞞彦（日本画）没
1978年4月30日	韓国放送公社の招きにより、ソウル市世宗文化会館開館記念芸術祭開幕演奏会に出演。指揮ウォルフガング・サヴァリッシュ。独奏申秀貞。韓国全土に実況中継	
1978年5月	この月の定期公演3チクルスに、小林研一郎、井上道義、尾高忠明らいずれも30歳代の若手指揮者を起用	
1978年5月1日		アラム・ハチャトゥリヤン（作曲）没
1978年5月6日		野村万蔵（能楽）没
1978年5月9日	日本音楽芸術振興会主催「第1回東京音楽祭オープニング・コンサート」に出演。10日、同音楽祭参加公演にも出演するはずのところ、独奏者スヴァトスラフ・リヒテル急病のためこの日の演奏会中止	
1978年5月9日～6月8日		第1回東京音楽祭
1978年5月16日		ウィリアム・スタインバーク（指揮）没
1978年5月20日		新東京国際空港（成田空港）開港
1978年5月23日～7月1日		初の国連軍縮特別総会開催
1978年5月29日	オルビス弦楽四重奏団（川上久雄、川上朋子、田淵雅子、斎藤鶴吉）第1回演奏会	
1978年6月12日		宮城県沖地震（M.7.5）、死者27人、損壊家屋2,844戸
1978年7月15日		メシアン立合いの下にマゼール指揮のフランス国立管弦楽団、《主イエス・キリストの変容》を日本初演
1978年7月25日		古賀政男（作曲）没
1978年7月27日		ウィレム・ファン・オッテルロー（指揮）没
1978年7月31日		ギュンター・レンネルト（演出）没
1978年8月12日		北京で日中平和友好条約調印
1978年9月	この月の定期公演から会費を改訂。A券4,000円、B券3,700円、C券3,000円、D券2,500円、E券1,500円	
1978年9月	この月から定期公演開演に先立ち、3チクルスにより不定期に、約20分間ホール2階北ロビーで室内楽を演奏	
1978年10月11日	理事長に吉田行範就任（1986〔昭和61〕年10月31日まで在任）	
1978年10月31日		甲斐説宗（作曲）没
1978年12月7日		国会、大平正芳を首相に指名
1978年12月10日		塚原哲夫（作曲）没

# 1979

昭和54年

1979年1月1日	
1979年1月6・7日	モーツァルト《リンツ》、《ブラハ》をレコードに録音。日本コロムビアから発売。指揮オットマール・スウィトナー
1979年1月7日	大河ドラマ『草燃える』（テーマ音楽：湯浅譲二、指揮：森正）放送開始
1979年1月13・14日	
1979年1月16日	
1979年1月23日	
1979年2月1日	外山雄三、森正に「正指揮者」の称号を贈呈
1979年2月15日	
1979年2月17日～3月16日	
1979年2月15日	第27回尾高賞授賞式。受賞作品は松村禎三《ピアノ協奏曲第2番》
1979年2月21・22日	第773回定期公演開演前に「高輪弦楽四重奏団」（小島秀夫、田淵彰、梯孝則、田沢俊一）演奏
1979年3月2日	「第1回バイオニア・N響コンサート」に出演。指揮フェルディナント・ライトナー。独奏中村絃子
1979年3月22日	
1979年3月26日	
1979年3月28日	
1979年3月23・24日	第776回定期公演開演前に「シュトス弦楽四重奏団」（前沢均、清水謙二、三原征洋、茂木新緑）演奏
1979年3月31日	コンサートマスター田中千香土依頼退職
1979年4月8日	「第21回大阪国際フェスティバル」で《歌劇「失楽園」》から〈アダージョ〉、《ヴァイオリン協奏曲》の日本初演を含み全ベンデレッキ作品プログラムを演奏。指揮クシシュトフ・ベンデレッキ、独奏ジェルジ・パウク（18日東京でも）
1979年5月11日	
1979年5月11日	
1979年6月11日	
1979年6月13～28日	
1979年6月28・29日	
1979年7月	『フィルハーモニー』7・8月号から編集顧問制度開始
1979年7月1日	大友直人第1回指揮研究生となる
1979年7月10日	
1979年8月3日	
1979年8月9日～9月8日	中国、東南アジア、オーストラリアを訪問、9都市で18回公演。指揮岩城宏之、外山雄三。独奏前橋汀子、内田光子（8月8日出発、9月11日帰国）。オーケストラとして初訪中
1979年9月1日	堀正文、コンサートマスターとして入団
1979年9月18～29日	
1979年10月1日	
1979年10月5日	
1979年10月10日	
1979年10月17日	
1979年10月22日	
1979年10月26日	
1979年11月4日	
1979年11月9・10日	第793回定期公演にヴィンフリード・リーバーマン（オーボエ）客演
1979年11月17日	
1979年12月27日	

# 1980

昭和55年

1980年1月	ソ連出身、オランダに亡命したキリル・コンドラシンを客演指揮者に招聘
1980年1月4日	
1980年1月6日	大河ドラマ『獅子の時代』（テーマ音楽：宇崎竜童、編曲：坪能克裕、指揮：小松一彦、ダウン・タウン・ファイティング・ブギウギ・バンド）放送開始
1980年1月13日	
1980年2月1日	
1980年2月11日	
1980年2月15日	第28回尾高賞授賞式。受賞作品は松平頼暁《マリンバとオーケストラのための〈オシレーション〉》
1980年2月20日	森正昭和54年度放送文化賞受賞
1980年3月7日	
1980年3月18日	
1980年3月29日	
1980年4月1日	北原幸男指揮研究生となる
1980年4月8日～9月30日	コンサートマスター堀正文、NHK・TV『ヴァイオリンのおけいこ』にレギュラー出演
1980年4月15日	
1980年4月26日	教育テレビで『N響アワー』開始（～2012年3月25日）
1980年5月	会員券発行業務コンピュータ処理へ移行
1980年5月8日	
1980年5月8日	
1980年5月14・15日	「中村絃子特別演奏会」に出演
1980年5月18日	

米中国交回復。米、台湾と断交
国立大学入試の共通1次学力試験、初めて実施。受験者32万7163人
イラン革命。国王エジプトに亡命。第2次石油危機の引き金となる
大田黒元雄（音楽評論）没
原信子（ソプラノ）没
中国軍、ベトナム侵攻（中越戦争）
ウォルター・レッジ（プロデューサー）没
イスラエルとエジプト、平和条約に調印
米スリーマイル島で空前の原発事故発生
巖本真理（ヴァイオリン）没
小野アンナ（ヴァイオリン）没
中島健蔵（文芸評論）没
ウィーン国立フォルクスオペラ初来日
東京サミット開催。中心議題は世界的石油危機対策
アーサー・フィードラー（指揮）没
レナート・ファザーノ（指揮）没
英国ロイヤル・オペラ初来日
ロイ・ハリス（作曲）没
三木稔のオペラ《あだ》、ロンドンで世界初演
ポール・バレー（指揮）没
ビエール・ベルナック（バリトン）没
ナディア・ブーランジェ（作曲・ピアノ）没
韓国大統領朴正熙、側近のKCIA部長に射殺される
イラン、イスラム系学生ら米大使館を占拠、外交官ら60人を人質に前国王の引渡しを要求。米国の世論沸騰
多久興（ヴァイオリン）没
アフガニスタンでクーデタ。アミン処刑。ソ連軍介入
アレクサンドル・スヴェシニコフ（合唱指揮）没
アンドレ・コステラネツ（指揮）没
政府、モスクワオリンピック参加の不適切をJOCに伝達。5.24JOC総会紛糾、29対13で不参加を決定
青木爽（正）（オペラ訳詞家）没
山口百恵、婚約発表（引退・結婚まで200日間“百恵フィーバー”）
下八川圭祐（バス、バリトン）没
マントヴァーニ（指揮）没
土岐善麿（歌人）没
フリューベック・デ・ブルゴス、読売日本交響楽団の常任指揮者に就任
東山千栄子（女優）没
韓国全土に非常戒厳令、金大中ら逮捕。5.31光州市で民衆蜂起

N 響		社会・音楽界
1980年5月25日		園部三郎（音楽評論）没
1980年5月31日		堀米ゆず子、エリザベート皇太后国際音楽コンクール（ヴァイオリン）第1位入賞
1980年5月25日	「江藤俊哉特別演奏会」に出演	
1980年6月12日		大平首相没。7.17鈴木善幸内閣発足
1980年6月23日		入野義朗（作曲）没
1980年6月28日		ホセ・イトゥルビ（ピアノ）没
1980年8月		1905年（明治38）以来の冷夏
1980年8月23日		岩田藤七（ガラス工芸）没
1980年9月	この月の定期公演から座席区分と料額を変更。これまでのAをS席とA席、BをB席とC席、C、DをD席に区分し（EはE席）、S席4,500円、A席4,000円、B席3,700円、C席3,000円、D席2,000円、E席1,500円とする。この結果25%の席（旧A、Bの一部とE）は据置き、30%の席（旧Aの一部）は値上げ、45%の席（旧Bの一部とC、D）は値下げとなり、全席の平均単価は約150円値下げとなる	
1980年9月9日		イラン・イラク戦争始まる
1980年9月12日		トルコで軍事クーデタ
1980年9月22日		河上徹太郎（音楽評論）没
1980年9月22日		ポーランドで自主管理労組「連帯」結成。委員長ワレサ
1980年9月26日		東京交響楽団、財団法人として発足
1980年10月3日	副理事長有馬大五郎没。80歳。10月21日青山葬儀所でN響・国立音大による合同音楽葬執行	
1980年11月4日		レーガン、米大統領選挙で圧勝
1980年11月20日～12月3日		第1回国際音楽コンクール（ピアノ部門）開催。1位入賞者なし
1980年11月23・24日	オットマール・スウィトナー指揮・演出により、国立音大がヘンデルの歌劇《アチスとガラテア》を日本初演	
1980年11月26日		矢田部勤吉（バス）没
1980年12月5日		東貞一（ピアノ）没
1980年12月8日		ジョン・レノン射殺される
1980年12月13日		ハンス・リヒター・ハーザー（ピアノ）没
1980年12月19日	第29回尾高賞授賞式。受賞作品は武満徹の《ヴァイオリンとオーケストラのための「遠い呼び声の彼方へ!」》	
1981年1月11日	大河ドラマ『おんな太閤記』（テーマ音楽：坂田見一、指揮：小松一彦）放送開始	
1981年1月18日		篠原正雄（指揮）没
1981年2月3日		オペラ団体協議会発足
1981年2月3日		増沢健美（音楽評論）没
1981年2月11日	N響楽員として在籍した団友40余名による「NHK交響楽団団友指導協会」発足。会長鷺見四郎	
1981年2月15日		カール・リヒター（オルガン・指揮）没
1981年2月23～26日		ローマ法王パウロ2世来日
1981年3月2日		中国残留日本人孤児47人、厚生省の招待で初めて正式来日。26人身元判明
1981年3月2日		芦原英了（音楽・舞踊評論）没
1981年3月7日		キリル・コンドラシン（指揮）没
1981年3月15日		堀口大学（詩人）没
1981年3月16日		第2次臨時行政調査会初会合。会長土光敏夫
1981年3月16日		ヴォルフガング・シュタフォンハーゲン（ヴァイオリン）没
1981年3月20日		米大統領レーガン、狙撃され重傷
1981年3月24日		紙恭輔（作曲）没
1981年3月27日		新星日本交響楽団、財団法人の認可を受ける
1981年4月1日	契約団員木越洋チェロ・パートの首席奏者として正団員となる	
1981年5月6日		長谷川良夫（作曲）没
1981年5月13日		ローマ法王、サンピエトロ広場で狙撃され重傷
1981年5月14・18・23日	二期会主催歌劇《フィデリオ》原語上演に出演。指揮ヴォルフガング・サヴァリッシュ	
1981年5月27・30日	「海野義雄特別演奏会」に出演	
1981年5月28日	「安川加寿子特別演奏会」に出演	
1981年5月30日		バングラデシュ大統領暗殺される
1981年6月20日		清水和音、ロン・ティボー国際音楽コンクール（ピアノ）で第1位
1981年7月	ホルスト・シュタインのカリカチュア、岩城宏之の顔によるTシャツ（M、Lサイズ）2種類を作る。1,800円、1,700円。会員は各200円引き	
1981年7月13日		平岡養一（木琴）没
1981年7月16日		四家文子（アルト）没
1981年7月17日	サントリー財団主催「作曲家・個展'81（松平頼則）」に出演。指揮秋山和慶。独奏高橋アキ、小出信也	
1981年7月31日		新芸術家協会倒産
1981年8月14日		カール・ベーム（指揮）没
1981年8月30日		福井直弘（ヴァイオリン）没
1981年8月30日		イラン首相府で爆弾炸裂。大統領・首相ら死亡
1981年9月1日～10月1日		ミラノ・スカラ座日本公演
1981年9月8日		湯川秀樹（理論物理学）没
1981年9月14日		清瀬保二（作曲）没
1981年9月19日		町田佳声（近世邦楽・日本民謡研究）没

# 1981

昭和56年

	N 響	社会・音楽界	
	1981年10月6日	有馬大五郎追悼演奏会举行	
	1981年10月12日	故有馬大五郎の遺徳をしのんで新たに制定された「有馬賞」第1回贈呈式。受賞者外山雄三、千葉馨	
	1981年10月19日	福井謙一、ノーベル化学賞受賞	
	1981年10月24日	漆原啓子、ヴェニエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクール第1位	
	1981年10月～1982年2月	ニュージーランド交響楽団のヴィオラ奏者ピーター・バーバーを給費留学生として受け入れる	
	1981年11月	この月の公演にスウェーデンの指揮者ヘルベルト・ブロムシュテットを招聘	
	1981年12月9・10日	第857回定期公演の独奏者海野義雄取賄容疑で逮捕、徳永二男急遽代演	
<b>1982</b> 昭和57年	1982年1月10日	大河ドラマ『峠の群像』（テーマ音楽：池辺晋一郎、指揮：尾高忠明）放送開始	
	1982年2月	本団名誉指揮者ロヴロ・フォン・マタチッチにウィーン交響楽団からブルックナー・リング（指輪）贈られる	
	1982年2月8日		
	1982年2月9日		
	1982年2月17日	第30回尾高賞授賞式。受賞作品は一柳慧《ピアノとオーケストラのための〈空間の記憶〉》、尾高惇忠《オーケストラのための〈イマージュ〉》	
	1982年2月17日		
	1982年3月	尾高賞30年を記念して、この月の定期公演A、B、C3チクルスを「日本の現代管弦楽曲シリーズ」特集とし、1912年（明治45年、大正元年）以来70年間に作曲された日本人の管弦楽曲1600曲の中から15曲を厳選して演奏。指揮外山雄三。独奏堤剛、木村かをり、数住岸子、徳永二男、中村絃子。合唱東京放送児童合唱団。CBS・ソニーによりライブ・レコードを制作発売	
	1982年3月15日		
	1982年3月29日		
	1982年4月2日		
	1982年4月14・15日	第870回定期公演の独奏者にアンネ・ゾフィー・ムターを招聘。出演料高額のためオーケストラとの協演はN響のみ	
	1982年4月18日		
	1982年4月19日		
	1982年5月16日		
	1982年5月26日	「ウラディーミル・アシュケナージ協奏曲のタベ」に出演。指揮外山雄三	
	1982年6月	中博昭（コントラバス）を演奏指導者として名古屋フィルへ定期的に派遣	
	1982年7月4日		
	1982年7月20日		
	1982年7月23日		
	1982年8月1日		
	1982年8月12日		
	1982年9月14日		
	1982年9月14日		
	1982年10月4日		
	1982年10月4日		
	1982年10月12日	中村絃子、川上久雄有馬賞受賞	
	1982年10月14日		
	1982年10月16日		
	1982年11月3日	元コンサートマスターウィルヘルム・ヒューブナー勲3等瑞宝章を受ける	
	1982年11月11日		
	1982年11月26日		
	1982年12月		
1982年12月1日	1冊11枚綴り1年間有効の回数券「N響フレンド」発売。30,000円		
1982年12月4日			
1982年12月15日	3月の定期公演3チクルスの企画と成果に対し「音楽之友社賞」と「レミー・マルタン音楽賞」を受賞		
1982年12月20日			
<b>1983</b> 昭和58年	1983年1月9日	大河ドラマ『徳川家康』（テーマ音楽：富田勲、指揮：秋山和慶、慶應義塾ワグネル・ソサイエティー）放送開始	
	1983年1月12・13日	第889回定期公演の指揮者にイーゴリ・マルケヴィチを招聘	
	1983年1月21日		
	1983年1月26日		
	1983年2月16日	本団名誉指揮者ウォルフガング・サヴァリッシュ放送文化賞を受賞	
	1983年2月23日		
	1983年3月1日	外山雄三サントリー音楽賞受賞	
	1983年3月1日		
	1983年3月6日		
	1983年3月7日		
	1983年3月8日		
	1983年3月9・10・11・12日	第896回、第897回定期公演を「ワグナーのタベ」とする。指揮ホルスト・シュタイン。独唱ウテ・ヴィンツィング、小林一男。合唱早稲田大学混声合唱団、二期会。これに先立ち2月下旬シュタイン指揮のワグナー名曲集をEMIでレコーディング	
	1983年4月15日		
	1983年4月30日		
			国内最大のレジャー施設、東京ディズニーランド開園
			黒柳守綱（ヴァイオリン）没

	N 響	社会・音楽界
	1983年4月30日	ジョージ・バラシン（振付）没
	1983年5月3日	宅孝二（作曲、ピアノ）没
	1983年5月8日～6月1日	
	文化庁、国際交流基金、日本万国博覧会記念協会助成、NHK派遣によりヨーロッパ5か国14都市で18回公演。指揮ウォルフガング・サヴァリッシュ、岩城宏之。独奏塩川悠子、徳永二男、クリスティアン・アルテンブルガー、野島稔、ワルター・クリーン（5月5日出発、6月3日帰国）	
	1983年6月	
	NHKホール設立10周年を記念してこの月のすべての定期公演開演前にロビーで室内楽を演奏	
	1983年6月10日	大木正興（音楽評論）没
	1983年6月11～16日	ホロヴィッツ初来日。入場料S席50,000円はこれまでの最高額
	1983年6月12日	
	「つくばセンタービル落成記念NHK交響楽団演奏会」（ノバホール）に出演。指揮秋山和慶。独奏高橋裕希子	
	1983年6月24日	アルベルト・ヒナステラ（作曲）没
	1983年7月10日	ウエルナー・エック（作曲）没
	1983年7月23日	ジョルジュ・オーリック（作曲）没
	1983年8月20日	小泉文夫（民族音楽学）没
	1983年9月1日	ソ連空軍機、領空内に侵入したニューヨーク発ソウル行の大韓航空機を撃墜。日本人28人を含む269人全員死亡
	1983年9月18日	伊藤恵、ミュンヘン国際音楽コンクール（ピアノ）で第1位
	1983年9月25日	井口基成（ピアノ、音楽教育）没
	1983年10月9日	ビルマ、ラングーンの寺院で爆弾テロ。訪問中の韓国大統領難を逃れる。副首相ら韓国人17人、ビルマ人4人死亡。11.4ビルマ、北朝鮮の犯行と断定、北朝鮮と断交、国家承認も取消す
	1983年10月12日	堀内敬三（作曲）没
	1983年10月14日	
	有馬賞授賞式。受賞者は山田一雄、徳永兼一郎	
	1983年10月30日	日本音楽家ユニオン発足
	1983年11月4・5日	
	「日生劇場開場20周年記念特別公演・ワーグナー没後100年記念演奏会」に出演。指揮ヘルベルト・ブロムシュテット。独唱スパス・ヴェンコフ、イングリッド・ビョナー、佐藤征一郎、田中淑恵、宮原昭吾	
	1983年11月13日	
	1983年12月17日	名誉顧問前田義徳没。77歳
	1983年12月22日	
	1984年1月5日	
	1984年1月8日	大河ドラマ『山河燃ゆ』（テーマ音楽：林光、指揮：外山雄三）放送開始
	1984年1月22日	顧問一万田尚登没。90歳
	1984年1月26日	
	1984年2月8・9日	第923回公演でレーガー《A.ベックリンの絵による4つの音詩》を演奏。日本初演か。指揮ホルスト・シュタイン
	1984年2月15日	第32回尾高賞授賞式。受賞作品は柳慧《ヴァイオリン協奏曲〈循環する風景〉》
	1984年2月21日	ホテル高輪「オーロラの間」において特別会員と懇親パーティを開く
	1984年3月5日	
	1984年3月5日	田辺尚雄（音楽学）没
	1984年3月5日	ビエール・コシュロー（オルガン）没
	1984年3月5日	ティート・ゴッピ（バリトン）没
	1984年3月16日	日本フィルハーモニー交響楽団労働組合とフジテレビ・文化放送間の12年におよぶ紛争、和解成立
	1984年3月18日	江崎グリコ社長誘拐。“グリコ・森永事件”の始まり
	1984年3月19日	中能島欣一（箏曲、作曲）没
	1984年3月25日	三鬼日雄（チェロ）没
	1984年3月31日	
	コンサートマスター川上久雄依頼退職	
	1984年4月	森正業褒章受賞
	1984年4月6日	「日本現代音楽のタベ」で武満徹《ギターとオーケストラのための〈夢の縁へ〉》（1982）を日本初演。指揮外山雄三。独奏鈴木一郎
	1984年4月1日	「日独交歓NHK交響楽団特別演奏会」。指揮ウォルフガング・サヴァリッシュ。独奏アンネ・ゾフィ・ムター。独唱ルチア・ボップ、小林一男、ヘルマン・ブライ、合唱東京芸術大学音楽学部、東京放送児童合唱団
	1984年5月12日	衛星放送、試験放送開始
	1984年6月1日	柳兼子（アルト）没
	1984年6月19日	
	山口裕之コンサートマスターに就任	
	1984年7月28日～8月28日	ロサンゼルス夏季オリンピック大会。ソ連圏15か国ボイコット
	1984年7月31日	今日出海没
	1984年9月5日	臨時教育審議会（臨教審）第1回総会
	1984年9月6～8日	韓国大統領全斗煥来日。天皇、「不幸な過去、誠に遺憾」と表明
	1984年9月17・18日	故齋藤秀雄門下生110名余による「メモリアル・コンサート」開催
	1984年9月19・20日	
	第938回定期公演でプロデク《フルーツ協奏曲ニ長調》を日本初演。指揮イルジー・ビェロフラーヴェク。独奏小出信也	
	1984年10月	この月の定期公演指揮者にセントルイス響のレナード・スラットキンを招聘
	1984年10月2日	
	1984年10月8日	井口秋子（ピアノ）没
	1984年10月8日	
	有馬賞授賞式。受賞者は海老沢敏、延命千之助、小野崎純	
	1984年10月11日	札幌交響楽団東京初公演。指揮岩城宏之
	1984年10月31日	インドのインディラ・ガンジー首相暗殺される
	1984年11月	
	理事長吉田行範旭日小綬章を受賞	
	1984年11月1日	マルセル・モイーズ（フルート）没
	1984年11月16日	レナード・ローズ（チェロ）没

# 1984

昭和59年

## 1985

昭和60年

1984年11月17日		東京・世田谷で電話地下ケーブル火災。銀行オンラインなど不通
1984年11月21日		ゲルハルト・ヒュッシュ (バリトン) 没
1984年11月21日		アルヴィート・ヤンソンス (指揮) 没
1984年11月26日		鷺見三郎 (ヴァイオリン教育) 没
1984年12月1日		井口愛子 (ピアノ教育) 没
1984年12月8日		エチオピア、30万人が餓死寸前と国連に報告
1985年1月4日	ロヴロ・フォン・マタチッチ (指揮) 没。85歳	
1985年1月6日	大河ドラマ『春の波濤』 (テーマ音楽：佐藤勝、指揮：尾高忠明) 放送開始	
1985年1月11日		日本フィルハーモニー交響楽団、財団法人の認可を受ける
1985年1月13日		鈴木聡 (チェロ) 没
1985年1月26日		吉村一夫 (音楽評論) 没
1985年2月	この月の定期公演指揮者オットマール・スウィトナー心臟障害のため来日不可能となり、渡辺暁雄 (A、Cプログラム)、山田一雄 (Bプログラム) 急遽代演。曲目は変更せず	
1985年2月7日	第33回尾高賞授賞式。受賞作品は三善晃《オーケストラと童声合唱のための〈響紋〉》	
1985年2月22日		エフレム・ジンバリスト (ヴァイオリン) 没
1985年2月27日		田中角栄元首相自宅で倒れ入院。政界に波紋広がる
1985年3月7日		兎東竜夫 (ヴァイオリン) 没
1985年3月12日		ユージン・オーマンディ (指揮) 没
1985年3月16日		科学万博——つくば85開会式
1985年3月30日		野上弥生子 (小説) 没
1985年4月1日		作家三浦朱門、文化庁長官に就任
1985年4月8日		東京地裁、東京芸術大学楽器汚職事件で海野義雄教授に懲役1年6月、執行猶予3年の判決。海野側控訴。10.29控訴取下げ有罪確定
1985年3月16日	国際科学技術博覧会 (科学万博) 開会式でロボットと協演。初めて“人間以外の協演者”と演奏	
1985年4月	指揮研究生北原幸男、「第1回V.ターリヒ国際指揮コンクール」 (「ブラハの春」音楽祭の一環) で第3位入賞	
1985年4月	入場税法改正に伴い、S、A、B券所持者へ入場税金の還付を開始	
1985年4月10日	第1回「NTT N響コンサート」	
1985年4月24・25日	第959回定期公演曲目中の一つ、マーラー《大地の歌》を故ロヴロ・フォン・マタチッチに捧げる。指揮ベリスラフ・クロブチャール。独唱伊原直子、小林一男	
1985年6月4日		木村重雄 (音楽評論) 没
1985年6月9日		川口松太郎 (小説) 没
1985年6月15日		八村義夫 (作曲) 没
1985年6月18日		豊田商事オーナー、大阪のマンションで刺殺される
1985年7月4~24日		第1回「東京の夏」音楽祭開催
1985年7月20日		伴有雄 (指揮) 没
1985年7月27日		内田栄一 (バリトン) 没
1985年8月12日		羽田発大阪行日航ジャンボ機、群馬県の山中に墜落。520人死亡4人生存
1985年8月18日		辻吉之助 (ヴァイオリン) 没
1985年8月25・30・31日		欧州音楽年日本実行委員会主催によるマスカーニ《イリス》日本初演
1985年9月	この月から座席区分と料金を変更。3階前方のC席3,000円をD席2,000円、B席3,700円を3,500円とする (1回券・当日券は500円増。D席の学生優待券は半額)。また、この月から年間会員制度を実施 (約9~10%割引)	
1985年10月3日	元チェロ首席奏者ニコラウス・ヒューブナー没。76歳	
1985年10月7日	有馬賞授賞式。受賞者は吉田雅夫、中博昭	
1985年10月14日		エミール・ギレリス (ピアノ) 没
1985年10月17日	ジョセフ・ローゼンストック (指揮) 没。90歳	
1985年10月20日		第11回ショパン国際ピアノ・コンクールでスタニスラフ・ブーニンが第1位
1985年10月25日	国連デー演奏会 (N.Y.) に出演。指揮外山雄三。独奏ユードィ・メニューイン、金力	
1985年10月25日		物集高量 (作家) 没
1985年11月10日		第1回京都賞 (稲盛財団) 受賞者、メシアンに決まる
1985年12月18日		田中美知太郎 (哲学) 没
1985年12月24日		加藤唐九郎 (陶芸) 没
1985年12月27日		テロリスト、ローマとウィーンの空港を襲撃。16人死亡、120人余負傷
1985年12月31日		立川清登 (バリトン) 没